

●平成30年11月全統プレ模試見直しプリント

松江北高英語科

★テストは終わった直後に見直すことで初めて力がつく。「やりっ放し」の人は同じ事を何度も間違える。この差が大きいのだ！「賢者は歴史に学ぶ」（ビスマルク）！それと自己採点がヒドすぎる。判定の信憑性が揺らぐ？

★今年のセンター試験筆記の平均点：123.75点

<平均点(120点)ではどこへも行けない。今年は537,008人が約10万人（国公立大定員）のイス取りゲーム>

第1問

A 発音問題

「出る単語は決まっている！」この準備をしっかりと！
「知っているか、知らないか？」の世界→チェルシー先生のCDを音読せよ！

今回出題された12語の発音問題のうち、八幡の「対策本」のリストに載っている

のが10語！10/12=予想的中率83%！出る単語は決まっている！このうち★印のついた頻出重要語が

4語ある。対策としては、頻出綴りの発音理解と、頻出語の確認がカギ！狙われる発音の綴りは限られる！勉強しただけ点の取れる問題だ。逆に何も知らない人はいつまでもとれない！「子音」1題と「母音」が2題が通常の出題（2017年追試）だが、2017年本試は逆に母音1題、子音2題であった。今回の出題は2017年にならったもの。「頻出語リスト」をチェルシー先生（&エドワード先生）のCDを使ってひたすら音読せよ！重要

問1 《頻出》母音/oa/の問題。coat, loan, roadは全部「オウ」、①abroadだけが「オー」と伸ばす発音です。oaを「オウ」（99%がコレ）と読むか、「オー」（abroad, broad, broadcastだけを覚えておくとい）と伸ばして読むかの区別は《超頻出》。必ず押さえておけ！昨年の全統プレでも/oa/は出題された。
問2 子音/g/の問題。designer, foreigner, signは発音しない黙字。③ignoreだけは「グ」と発音。
問3 子音/ss/の問題。dissolve, possession, scissorsは「ズ」、③possibleだけは「ス」と発音。



★1問（2点）で平均付近で9,504番も差がつく！

B アクセント問題

ここで差がつく！対策を怠るな！！過去問の再出題（お色直し）多し！

今回出題された16個の単語中、8語が「対策本」のリストに載っている単語であった。8/16=予想的

中率50%！そのうち3語が★印のついた頻出重要語。今回は頻出語を外した出題だった。基本的ルールの理解と頻出語の確認がカギ！「頻出語リスト」をチェルシー先生のCDを使ってひたすら音読せよ！これだけでずいぶん得点率が違う！英語の成績と最も相関の薄い問題。全国的に対策・準備をしていないのが原因。

問1 clinic, damage, issueは全て第1音節が強い。①attendだけは第2音節が強い。「ダメージ」ではない！
問2 atmosphere, dialogue, livelihoodは全て第1音節が強い。④pioneerだけは第3音節が強い。「双子の法則」（-ee-, -oo-はそこが強い）からpioneerは分かる。
問3 《やや難》carefully, enterprise, logicalは全て第1音節が強い。③inheritだけが第2音節が強い。「イキクルール」（-ic, -icalは1つ前の母音が強い）からlogicalは分かる。
問4 astronomy, biology, irregularはすべてが第2音節が強い。④literaryだけが第1音節が強い。「オロジーの上」（biology, psychology）綴りの長い単語で頻出するものには目を通して置く。
★《対策》成績上位者もかなり落とす。「当たり前のことをバカになってちゃんとやる」（ABC）姿勢が重要！coat, loan, road, designer, sign, clinic, damage, pioneer, irregularは「カタカナ語」の出題（復活傾向）。注意せよ！重要『蛭雪時代』（旺文社）12月号の「発音・アクセント講座」（水野 卓）が参考になる（図書館入り口に過去のバックナンバーあり）。ぜひ一読せよ！

●「お色直し」！！センター過去問から今回は次の10語が出題になっている！：abroad(2007本)loan(2014追)designer(2016追)ignore(1996追)scissors(1994本)damage(1997本、2010本)issue(2010追)atmosphere(1998追、2014本)logical(2016本)astronomy(1994追) ★過去問の「出題語リスト」にあたっておくのが参考になる。必ず「お色直し」で再出題されるから。重要な対策！

第2問

知らないモノはできない！割り切ってスピーディーに！
～確実にして引き出しに入れた「量」がモノを言う！最後の最後まで知識を増やす努力を！

A 文法・語法問題《難》 第2問題Aの出来が総合得点の「バロメーター」となっている。近年は、読彙・語法の出題への極端な移行傾向があったが、文法問題へと回帰しつつある。狙われる分野にも頻出のものがある。演習量がモノを言う世界。演習した数がきわめて重要。「質より量」ダ！重要
問1 《難》「ぐっすり眠った」fast asleepの用法を知っているかどうかのカギ。fast（ぐっすりと）

ハの絶対ポイント17 参照。意外な意味を持った基本語には要注意。

問2 「地図を描く」線画で書くのだからdraw。writeではない。paintは絵の具。**ハの絶対ポイント17**

問3 「見られるのを避けようとした」avoid V-ingだから「見られる」の受け身でavoid being seen。**ハの絶対**

ポイント3 「MEGAFEPSだ」を押さえておく。

問4 《難》「ただで」for nothing (=free) という熟語を知っているかどうか？

問5 《難》「緊急電話をかけなければいけないときに公衆電話が使われているところだったので」という意味が分かれば、進行形の受け身 was being used が選べる。**ハの絶対ポイント23**

問6 「どのようであったか」what A is likeの変形で what A would have been like

問7 《難》「政府はそうでないふりをしたが」otherwise（違うふうに）**ハの絶対ポイント24**

問8 《難》「入試を受ける生徒の数が過去10年で最低」「受験する」だから taking 主語は number (数) だから単数扱いで is が正解。**ハの絶対ポイント11**

問9 《難》「不平を言っても無駄だ」It is no good[use] V-ing（～してもムダだ）good に注意！

問10 《難》「シェークスピアが今日生きていたら、驚くだろう」If Shakespeare were alive today = Were Shakespeare alive today [ifの省略] 仮定法だから would be surprised **ハの絶対ポイント24**

B 語句整序問題

まず英文の意味を類推せよ！+文法・語法

差がつく問題！
いいか、語整序はまぐれて合うことは絶対ないのだ！ ⑥6×5×4×3×2=720通り
例年は最低1問は難しいものが入ることも知っておく。今回は問1、問3が難しい。あまり深入りして時間をロスしないように。1問1分で「8つのセット」と「熟語」がカギを握る。空所の前後にヒントあり！「検算」も！苦手な人はひたすら問題数をこなして慣れよ。100題くらい解いてみるとよい。

【鉄則】

まずはどんな意味になるかをチェック

→ つなげる

→ 検算 これでOK！重要

<ヒントは下線の前後>（8つのセット+熟語）

問1 《難》「最新技術を利用しない会社は倒産するだろう」という意味。fail to V（～しない）take advantage of（～を利用する）「後置修飾」は苦手 **that fail to take advantage of**

問2 「今年の2倍のお金を稼いでいる」という意味。倍数 as ～ as がポイント。**is making twice as much money**

問3 《難》「私が尋ねた人に応じて異なる答えを得続けた」という意味にする。depending on who I asked（私が尋ねた人に応じて）**answers depending on who I asked**

C 応答文完成問題 ※「意味の流れ」を考えるのが一番のカギ！あり得ないものも消去

問1 「全てを手配してもらうために旅行会社にお願いするつもりだ」という意味が分かるかどうかのカギ。←「自分で予約を全部やるつもり？」—「いいえ…」

問2 《難》「電話が全く反応しなかった」という意味が分かるかどうか。respond to とつられないこと。

問3 「貯金しておかないと、年取ってから後悔することになるから」の意味が分かるかどうか。

↓ 知識問題はココまで

第3問

理詰めで読もう！語彙力・速読力が重要

A 不要文指摘問題《易》 「テーマ」を考えると、「仲間外れ」が見えてくる！
★テーマは第1・2文に！ 目の付け所は「文脈」「つなぎ語」「指示語」の3つ

問1 「新種の恐竜の化石より羽毛つきが判明」がテーマ。③だけが「恐竜」という単語の起源の話で×。

問2 「キノコは自前で食糧を作れない」がテーマ。④は「野生のキノコを食べる際には注意が必要である」

問3 「指紋の有用性」がテーマ。②は「顔認証」の話で×。

B 意見要約問題 《易》 ※問題文の日本語の説明が大きなヒントに！

注目すべきは**最初と最後** 間に**根拠**が示される **言い換えの選択肢**を探せ！

㊤ 問題文の日本語で書かれた説明(「ある会社で従業員の遅刻の問題について従業員たちが話し合いをしている場面」)は、これから読む文章の大きなヒントになるので必ず読むこと！そして発言の**最初と最後**をチェックするのだ。<主題文→支持文→まとめの文>という段落内構成を確認せよ！**重要**

3 0 let's reward staff members who are regularly on time. (いつも定時に来る従業員に褒美を与えよう)と言っているので、③がそのままの選択肢。簡単すぎ。こんなものは問題ではない。ヒドすぎ。

3 1 I'd like to suggest some employees work from home instead of in the office./ By staying home people don't have to deal with delays that might be beyond their control. どちらも家で働くことにより、遅刻を撲滅できる。それを述べたのが、②。

3 2 ミックー働きたい時に働けば良い シャーリーーフレックスタイムの導入 エヴァーンー賛成 ジャックー同意 マーガレットー同意 それを述べたのが②「どの時間に働きたいかを社員に決めさせる」。**★複数の人物の発言の共通点・不一致点を聞くのが最近の傾向。重要**

第 4 問 「情報検索能力」を試す読解問題 8分ー5分でビジュアル問題頻出表現は確認したか？これを知らないと英文が読めない！

A **英文情報とグラフ情報の対照 《直接資料問題》** この問題苦手な人多し！原因は「語彙」にアリ！

問 1 The survey collected data from 11800 U.S. husband-wife households and 3350 single-parent households.がそのまま①。レベルの低い出題！

問 2 グラフのタイトル"Expenditures on a child from birth through age 17"がそのまま④に。

問 3 the percentage of costs spent on housing changed very little over 53 years. Even though the price of houses increased over the years, the percentage spent on housing decreased one point between 1960 and 2013. ⇒(A)が housing と決まる。Families also began spending less on clothing and a lot less on food.⇒ (B)が food。These expenses took up only two percent of the 1960 budget but increased dramatically to nearly 20 percent in 2013.⇒ (D)が child care and education。health care expenses doubled their share of the costs, going from four to eight percent ⇒ (C)が health care **★このようにグラフ項目決定のヒントが出てくるのは「中盤以降」だ！それを予測しながら読む。重要**

問 4 Such changes in culture often have a big impact on the way society functions. ①が正解。**★**このように、ヒントは**最終段落の最終文**にある。**段落の最後**をしっかりと読むことが、ポイントになる。**重要**

B **設問を先読みして見出し、記号を上手に活用して必要な情報検索を！全部を読むな！《直接資料問題》**

問 1 Students in grades 6-12 who attend a public middle or high school in Monroe may try out at one of four auditions held at Monroe public schools. (6～1 2年生が出願資格)したがって5年生の②はダメ。

問 2 A 5- to 7-minute live performance is required for the audition. ③が正解。

問 3 Category winners will take home \$100 each, and the student who is named "Best in Show" will receive an additional \$250. したがって最大 1 0 0 + 2 5 0 = \$ 3 5 0ー③獲得できる。

問 4 ①× will include students ②× at Monroe City Center ③× appear TV program ④○ The Monroe City Council is pleased to announce its first annual talent competition for students. 1つ1つ丁寧に検討。

第 5 問 物語文読解 2016年度より復活 ★設問を先に読むのは常識
～正解は本文の言い換え→「言い換え」を探す＝「同一内容異表現の法則」**重要**

【鉄則】 設問のキーワード ⇒ 本文中に探す(同一or言い換え) ⇒ その近辺に答のヒント

■普通の長文問題と同じ。本文中から根拠を探して、その「言い換え」を選ぶべし！下線部分がヒントに。

問 1 キーワードは"An Iffle's purpose in life". An Iffle's sole reason for existence is to make mischief for humans. (人間にいたずら)とあるので、②「人間を困らせる」

問 2 キーワードは"Tariq's father feel about his son"。Tariq's father sighed./Tariq didn't like to see his father disappointed, but as long as Tariq was afraid, he felt helpless. ②が正解。

問 3 キーワードは"Josluk recommended" Josluk put his hand on Tariq's shoulder, looked him in the eyes, and said, "Tariq, do what you love. Don't think about your fears. Think about your goals.とあるので、③「自分の目標を考える」が正解。

問 4 "Do what I love, and I won't be afraid," he thought.とは思いつつも、それがそう簡単にはいかないことが下線部の後に描かれている。したがって②「タリクが恐れを忘れるのは難しいだろう」が正解。

問 5 《新傾向》《難》He tried knocking on the door, and as he heard the human moan in a shaking voice, he began to sing as he drummed on the door. "Oh, why? Why do you torment me?" Soon, Tariq was singing at the top of his lungs, and Iffles came from far and wide to see the noisy confusion. Among them was Tariq's father , smiling with pride. Finally, Tariq had become a real Iffle. 自分の好きなことをやることによって本物の Iffle になれた、という話なので③「自分の好きなことをすることで恐怖を克服できる」が正解。

●勝負は第5問&第6問！●

評論文問題 「原文典拠の法則」 ★読みながら、解きながら本文の該当箇所を見つけるために語彙力が必要！ここに20分は残せ！「見た目は違えど中身は同じ！」★今回は腹の立つレベルの低い出題！本文とそのままの選択肢

第6問題は「原文典拠の法則」にしたがって、本文中に「…だから○」「…だから×」と確証を求め必ずその痕跡を残すこと！何となくヤマカンで解答するから間違える。次に示す各段落の下線部分が解答の根拠となる。その**言い換えが正解選択肢となる**ことに注意。「同一内容異表現」のものが正解となる。「読みながら解きながら」が鉄則。段落を読み終えるごとにその段落の設問を片づけるのがコツ。

A 問 1 The amygdala helps to process basic emotions like fear, anxiety, and anger. ②「基本感情を処理する助けになる」が正解。これもヒドい問題。こんな形の問題はセンターには出ない。出題者の怠慢。 **★「下線部意味推測」は2 0 1 7 年復活問題。下線部の前後に必ずヒントあり！**

問 2 City living is associated with a reduced amount of gray matter in the brain. より③は大都市の特徴で×。

問 3 The results demonstrated that children who played in grassy or wooded areas more often had better memory and better "fluid intelligence" これと全く同じ選択肢が②。これもヒドい出題。

問 4 Future city planners may also do well to include more parks and wooded spaces to improve the moods and abilities of those living and working in urban areas. これと全く同じ選択肢が③。これもヒドすぎる。

問 5 《新傾向》②「緑の空間の近くに住むことによる脳の利益」が正解。

B 《難》 各段落の第一文が大きなヒントになる。「一つの段落で言いたいことは一つだけ」の鉄則 ●各段落の要旨は次の通り。ほぼ第一文 (or 第二文) で明らか。**重要** 今回は紛らわしい。

(1)	森の近くに住むことは脳の活動を活性化	⇒ここは事前に読んでおくこと
(2)	①森の近くに住むことが脳にいかに影響	←森の近くに住む人は amygdala 機能が発達
(3)	④ストレス・灰白色レベルに緑空間の影響	←緑空間は灰白質の影響でストレス少
(4)	③緑空間が子供の脳の発達に与える影響	←緑地で遊ぶ子供と脳の発達の関係
(5)	②10代の子供が緑空間によって受ける影響	←1 0 代の若者の攻撃性と緑地の関係
(6)	緑の空間の将来	⇒ここは事前に読んでおくこと

★1 問 (6 点) で平均付近で**28, 621番**も差がつく！ココが勝負の分かれ目！！

★ Kei-Net (https://www.kawai-juku.ac.jp/moshi/n) で音声聞くことができる (要登録、無料)。リスニングの弱い人はスクリプトを読んでみて復習をしてから、もう一度音声を聞いてみるとよい。「読んで分からないものは聞かえない！」とにかく音声に慣れるためには毎日少しずつでも聞くしかない。『蜚雪時代』1 2 月号 (旺文社) に、リスニング対策付録 (CD 付き) がついていて、勉強になる。♥♥♥

《難》⇒ 第1問 問 2 第2問 問 1 2 第3問B 問 1 8 第4問A 問 2 2 第4問B 問 2 5